



梨花

題字/西尾 邑次
前鳥取県知事揮毫

第5号
1999年11月15日発行
鳥取県東京事務所内
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9077
FAX 03(5212)9079
発行責任者/天野 勇
編集/幹事会編集委員

11年
平成

総会と懇親の夕べ」盛會裡に終了

新会長に天野 勇氏が就任



あいさつする天野新会長

平成11年度の「総会と懇親の夕べ」は、9月8日、昨年引き続き赤坂プリンスホテルにおいて開催されました。

当日は、今年4月に初当選をされた片山鳥取県知事はじめ、鳥取県内の市町村長11名と、県選出国会議員の来賓の方々を含め、総勢248人の参加者にお集まりいただきました。

総会では、杉村会長の挨拶に引き続き、前年度事業・決算報告及び11年度事業計画・予算がそれぞれ承認されました。

私は山陰を引き揚げる前、韓国で生まれ韓国で育った縁もあり、40年の三菱の勤務を離れ、2年前から「日韓産業技術協力財団」専務理事の仕事に専念した。

「近くて遠い国」から

「近くて真に近い国」に

東京鳥取県人会常任幹事 西村 和義

それから月に一度は韓国を訪ね、政府や産業界のリーダーにお会いしたり、各地の多くの企業を訪ねたり、多くの韓国の人々をお迎えしてきている。



最近日本から観光客が激増しており、なかなか航空券の入手が困難なようである。

鳥取県や各市町村も早くから中国や韓国との友好関係を目指している。



会長就任にあたって

退任の辞

新世紀を迎え

県人会の伝統と活性化、隆盛を期待

東京鳥取県人会 名誉会長 杉村 公美

1999年9月8日、県人会総会で、会長の職を退任させて頂きました。

平成11年東京鳥取県人会新役員一覧

- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 任期/平成11年9月/平成13年9月 | 顧問 佐々木定道 | 正坂野 重信 佐々木 利 神 淳一 高崎博史 | 純 (中部) 齋木 勉 | (中部) 秋田俊作 笠見昭 |
| 名誉会長 *西尾 邑次 | 田熊一徹 常田享洋 坪倉 宗春 中西利理 錦織久蔵 | 鳥飼公雄 (西部) 野坂和男 | 藤井田多恵子 前澤佳 | 田中祐輔 西川伯榮 野 |
| 会長 *天野 勇 | 長谷誠彦 濱田台兒 浜 本清海 平林鴻三 三浦金 | *本池滋夫 | 山本和昭 萬壽一 *小 | 信 桑田百々子 竹歳一夫 |
| 副会長 山根眞樹生(東部) | 濱辺 正剛(中部) | 幹事 | 島順一郎 *金田哲夫 | 田 中 祐 輔 西 川 伯 榮 野 |
| *上村 正明(西部) | 評議員 相沢英之 浅井忠 良 石田哲一 石破 茂 | 寺谷敏克 寺谷万寿太 八 | 博 小川浩史 新 壽 夫 | 田 昭 人 野 田 英 一 早 川 仁 |
| 猪口 猛夫 入江藤直 各 務 節 河岡 博 河原卯 太郎 河本潤次郎 岸田純 之助 倉繁貴志子 古堤保 | 矢部清市 山下 武 山田 忠義 山本正義 *山中 卓 *足立 力 *岡垣宏 和 *山田憲典 *安藤紀 之 *川本義人 *長田幸 子 *谷口 潔 *萬山寿 | 村山 亘 矢田 次夫 四反田千鶴 清水紀代志 寺谷敏克 寺谷万寿太 八 村義郎 東田収司 三浦三 郎 森本 勇 *牧野和春 *倉光定巳 *岡田武人 *黒坂威光 *長谷川明機 | 小野憲彦 河上貞也 衣笠 孜 近藤 裕 中曾 敬 並河 敏 鳴海 允 野 口賢照 樋口公啓 松本 博 *木下三月 *田川 甲 *松浦克己 | 野 藤 井 田 多 恵 子 前 澤 佳 山 本 和 昭 萬 壽 一 * 小 島 順 一 郎 * 金 田 哲 夫 (西部) 井川祐二 大森 |

「忘年の交わり」 「爾汝の交わり」

東京鳥取県人会 会長 天野 勇

9月8日の県人会総会において、計らずも皆さんのご推挙により、第14代会長に就任することになりました。

私は最近、9月より10月にかけて3回、所用のため故郷鳥取県に足を踏む機会がありました。

あの街この町

青谷町は鳥取県の中央部よりやや東に位置する海と山に囲まれた自然豊かな町です。

「鳴り砂」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

「因州和紙」 千年の歴史と伝統を持つ青谷の因州和紙。

「豊かな自然と伝統和紙の町」 青谷町の魅力を紹介します。

「日本一と呼ばれる」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

「鳴り砂」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

「因州和紙」 千年の歴史と伝統を持つ青谷の因州和紙。

「豊かな自然と伝統和紙の町」 青谷町の魅力を紹介します。

「日本一と呼ばれる」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

「鳴り砂」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

「因州和紙」 千年の歴史と伝統を持つ青谷の因州和紙。

「豊かな自然と伝統和紙の町」 青谷町の魅力を紹介します。

「日本一と呼ばれる」 青谷の井手ヶ浜、青谷浜は全国でも珍しい鳴り砂の浜です。

●上質な地元産の酒米を使ったこだわりの酒
「山根酒造場」や「日置和紙工房」など、和紙を見学したり紙すきの体験ができる所もあります。
谷町広報担当
※くわしくは青谷町役場産業振興課 ☎(0857)851-2523にお問い合せください。

林田ビル管理株式会社
代表取締役 林田 達郎
(鳥取西高五回生)
東京都中央区日本橋人形町3丁目1番9号
〒103-0013 小島ビル4F
電話 03-3668-2111番(代表)
FAX 03-3668-2112番

遠藤太計雄行政書士事務所
会計記帳・会社設立・増資
相続全般・分割協議書作成
〒109-0072 東京都新宿区大久保2-33-25
TEL 03-3208-1923
FAX 03-3208-1924

鳥取銀行 TOTTORI BANK
東京事務所
所長 桑崎 俊文
〒101-0045 東京都千代田区神田駿河町3丁目3番9号(共同ビル新千代田3F)
TEL (03)5205-8111 FAX (03)5295-8117

白金・四季の彩り
八芳園 HAPPOEN
〒106-8531 東京都港区白金台1-1-1 電話(03)3443-3111(代)

県内イベント紹介

国内最大級の中国庭園「燕趙園」

新たにイベント・展示施設

「集粹館」がオープン!

鳥取県と中国河北省の友好のシンボルとして鳥取県中部の東郷湖畔に建設された燕趙園は国内最大級の中国庭園で、中国の歴史皇帝が造り親しんだ皇家園林方式の庭園です。燕趙園は、設計から素材の調達加工まで全て中国で行われた本格的な中国庭園で、一度中国で作り組みしたものを解体したうえで日本に運び、中国人技術者のもと、再度建設し直したものです。建物に施されている2000を超える彩画もすべて中国人彩画師の手によるなどあくまでも本物に拘わった庭園で、四季のうつろいととも日々違った顔を見せ、来園者に楽しんで頂いております。

もとで質の高い芸術を楽しんでいただくため、「山陰・夢みなと博覧会」のふすぐつた催しをするところれあいステージの柱等を利用して建設された、新しいイベント・展示施設「集粹館」が10月15日オープンした。園内で行うイベントの幅が広がり、今までの



集粹館全景

燕趙園では、こま国舞踊、雑伎などの公演を園下さる皆様にさら行っておりましたが、専用施設がないため天候に左右されたりしておりました。そこで、安定した好条件の



昭和16年卒の神崎さんをはじめ幅広い年代から多くの方が参会されました。特にこのたびは、前田県東部事務局長、県西部各高校同窓会の天野東高東京米城会長、田川西高聖会東京支部長、並河南商高東京水陸会

関東米工会



在京OB会だより

さながらサミットの感

去る10月2日、広尾・羽澤ガーデンにおいて米子工高同窓会・関東米工会の共同主催で「鍋を囲む会」が催されました。併せて春の叙叙で同窓の吉本秀幸さんが勲四等瑞宝章を、長尾真澄さんが勲五等瑞宝章を各々受賞され、お2人のW受賞をお祝いしました。

昭和16年卒の神崎さんをはじめ幅広い年代から多くの方が参会されました。特にこのたびは、前田県東部事務局長、県西部各高校同窓会の天野東高東京米城会長、田川西高聖会東京支部長、並河南商高東京水陸会

県人のお店

いってみんないな!
イタリア料理のお店

りんご亭



おしどり夫婦で商売繁盛

モンナカ(門前仲町)でイタリア料理の評判の店といたら、深川不動通りの側にある「りんご亭」。

店主の岩本恵美子さんは米子出身(東高65年生)で、女子美を出てからデザイナーを夢見て建築設計会社に勤めたが、そこで知りあつたのが一級建築士だったご主人の岩本孝司さん。彼の母親がこの場所を焼とり屋をやつていた関係から水商売に転向せざるをえなかった。2人揃って30才ちよつと脱サラ。

「やるならイタメシやだ!」勝ち気な五黄の虎生まれの恵美子さんの発案で迷わず決まった。

六本木にある某一流イタリアレストランから腕利きのシェフをスカウト、本格イタリア料理と銘うって味と安さを売りに2階の15席でスタートした。

案の定、日毎に評判が高まってグルメ党が押しかけられるようになった。

(遠藤 記/写真 藤島)

18年目を迎えた今では、1階の焼とり屋もイタリアンに変貌させていた。1、2階あわせて全40席。内装はお手や丸木で被ったログハウス風で、アンティークが基調。1階奥はまさに洒落たキャバンの雰囲気だ。その日も、ファミリーや若者カップルで満席していた。

お奨めの品は、地鶏のササ身のカルパッチョにはじまつて、生ガキ、真黒く盛りだいたのカツオ、ソーセージと野菜のポトフ仕立て、鶏モモのオリブ焼き。ジョッキがすすむうち、仕上げはスパゲッティのペペロンチーニとくればもう大満足。3人分のお値段は、締めで1万円でお釣りがきた。安い!

お昼のランチ、スパゲッティ(10種類ある)、プラスサラダ、パン、スープもお奨め(1000円前後)。

平日11時30分~13時30分、17時30分~23時迄。日祭、第2土曜休。江東区富岡1-8-7。TEL 03-3643-9358。



こたつにあたって松葉がに これぞ天下第一品の幸せ

釣り同好会へのお誘い

美しい故郷の海とはくらぶべきもないのですが、東京の海もきれいになってきました。プランクトンも多いいせいか、タイ・アジ・サバ・キス・ハゼ(米子ではゴズ)カレイなど釣りの種類も多彩です。少し足をのばせば、江の島近辺の相模湾など景色も美しく波もおだやかな釣り場もあります。関東周辺の港はどこでも船宿があり、いつでも怪に海に出られます。船にはトイレ・キャビンも完備してあり、最近では女性用の釣り道具も多くなりま

ゴルフ会

優勝は八村さん、準優勝福鳥さん! 次回(12月7日)は太平洋御殿場ウエスト・コースに決定!

第13回千鶴会は去る9月28日(火)好天の中、埼玉県日高市にある新武蔵ヶ丘ゴルフコースで、4組15名が参加して行われました。今回の初参加者は、副会

編集後記

米子の今井書店の社長さんが「本の学校」を作ろうと叫んで5年が過ぎます。今年の「大山シンポジウム」も大成功でした。全国小、中、高校の「朝の10分間読書運動」はそんななかから始まりました。これを家庭に職場に反映させたいものです。いままに読書の秋(E)読書といえは、徳川家康に意外な側面のあつたことが伝えられています。少年時代、家康は織田氏と今川氏との、二度にわたる人質生活に遇い、不遇



日頃の腕を競い合った参加者の面々

中でも、山川さんは隆司さん(NEIT80・4)が幸運に恵まれました。他参加者は、千鶴会オーナーの四反田千鶴さん、同会幹事長の上村正明さん、論客の鳥飼公雄さん、最若手の小野憲彦さん、そして鳥取県東部事務局長の前田親保さんでした。

和やかな懇親の席上、次回森谷さんのお世話を12月7日(火)太平洋御殿場ウエスト・コースと決定いたしました。5組を予約しておりますので皆様のご参加をお待ちしております。(事務局/藤島)